

秋の豊かな実りの季節を迎えた今日の佳き日、大阪府立千里高等学校創立50周年記念式典を挙げていただきましたところ、大阪府教育庁、大阪府議会議員、吹田市長、大阪府立高等学校長協会、吹田市立中学校長会、さらには、本校歴代校長先生方をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。また、多くの学校関係者、旧職員、卒業生並びにPTAの皆様にもご出席をいただき、かくも盛大に祝福していただきますことは、本校生徒、教職員にとって、大きな喜びでございます。

千里高校は、大阪万博開催の3年前にあたる昭和42年4月、千里ニュータウン開発の一環として、地域社会の要望と時代の要請を受け、千里丘陵の地に設立されました。それに先立ち、昭和41年4月に、大阪府庁舎内に設立準備室が設置され、翌年2月に開校を間近に控えた千里高校に移されました。そして昭和42年4月。千里高校は、全日制普通科高校として、千里丘陵を緑に彩り、どんな状況にも柔軟に対応する竹、一日によく千里を走るといふ名馬をめざし、「若竹の学校」「若駒の学校」として、スタートいたしました。

創立以来、生徒・教職員の勤勉さと努力の結果、多くの生徒が憧れる学校として、確固たる存在感を築き、保護者・地域からも多くの期待を寄せられるまでに発展を遂げてまいりました。平成2年度には、国際教養科が併置され、平成17年度にはすべての分野にグローバルに活躍できる人材育成を図るため、新たな専門高校「国際・科学高校」としての歩みをスタートさせました。

その間、平成14年度には、SELHi（スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール）、平成22年度にはSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）、平成23年度には、EFHS（イングリッシュ・フロンティア・ハイスクール）、平成27年度にはSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）及び骨太の英語力養成事業の各研究指定を受けるなど、その時々々の教育課題に先進的に取り組み、「時代を先駆けるパイロット校」として発展してまいりました。

しかしながらまだ道半ば。地球規模で物事を考え、自分の考えを自分の言葉で発信し、国際社会や地域社会に活躍・貢献できる人材の育成を図るため、生徒の個性伸長と自己実現を教育の基軸に置き、千里でしか学べない、千里ならではの学びをめざし、今後もしなやかに、そして大胆に新しい学校づくりを進めてまいります。そして、卒業生の皆様には「千里高校出身です」と誇りを持ってもらえるよう、生徒・保護者の皆様には「千里高校で学んでよかった」と思ってもらえるよう、努めてまいります。

今改めて、創立50周年の節目の年に、縁あって在籍している我々生徒、教職員一同、千里に集う一員として仲間入りできたことを、光栄に思います。

さて、千里高校の主役である在校生の皆さん。私は、千里高校50年の答えが、今の皆さんの姿だと考えています。そして、この後の記念行事での演奏はもとより、来賓の方の案内や接客、展示パネルやプログラム、記念品のデザインなど、式典の至る所に、皆さんの力があることを、とても誇りに思っています。

千里高校の校歌には、希望、友情、若竹、未来、そして千里の駒の言葉が読み込まれています。皆さんには希望という大きな夢と志を高く掲げてもらいたい。この出会いを大切に、友情を育んでもらいたい。そして若竹のようなしなやかな感性と弾力性のある強さを身につけて、これからの未来に向け、千里の道を天かける若駒として、迷うことなく、ひたむきに駆け続けてもらいたい。今日はその決意をこめて、我らの校歌を声高らかにそして伸びやかに歌い上げてください。

最後になりましたが、創立以来50年のこの方、本校教育の充実と発展に対し、関係機関並びに皆様からお寄せいただきましたお力添えと、創立50周年記念事業に際し、同窓会、後援会、PTAをはじめ、各方面の皆様から賜ったご厚情に深く感謝申し上げ、今後とも皆様方には、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。